

ポータブル ビデオCDプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取
り扱い方を示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のため
に」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みに
なったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



D-V500

©1996 by Sony Corporation

ここだけ
読んでも **使えます** 4 ~ 7 ページ ►

主な特長

小型・軽量のポータブルサイズのビデオCDプレーヤー

気軽に映像と音楽が楽しめます。映像を楽しむには、テレビをつないでください。

多彩なビデオCDの検索・再生機能

ビデオCDのプレイバックコントロール(PBC*)機能にも対応していますので、メニュー再生や高精細静止画の再生ができます。

* PBCとは、Playback Controlの略です。

リモコン付き

選曲や音量調節ができます。

2(AC、DC)電源対応

ACアダプターと充電式リチウムイオン電池の2つが電源として使えます。

ビデオCDについて

本機は、PBC対応のビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

PBC対応でないビデオCD
(バージョン1.1)
音楽CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。

使えるディスクについて

本機では以下のディスク以外は再生できません。お求めの際は、ディスクに表示されているロゴマークをご確認ください。

ビデオCD

ロゴマーク



記録しているもの

音声と映像

音楽CD

ロゴマーク



記録しているもの

音声のみ

ディスクには12cmと8cmの2種類の大きさがあります。最長再生時間は各々74分と20分です。実際の再生時間はディスクによって異なります。

PBC対応のビデオCD

(バージョン2.0)

左記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます。また、高精細または標準の静止画を再生できます。

目次

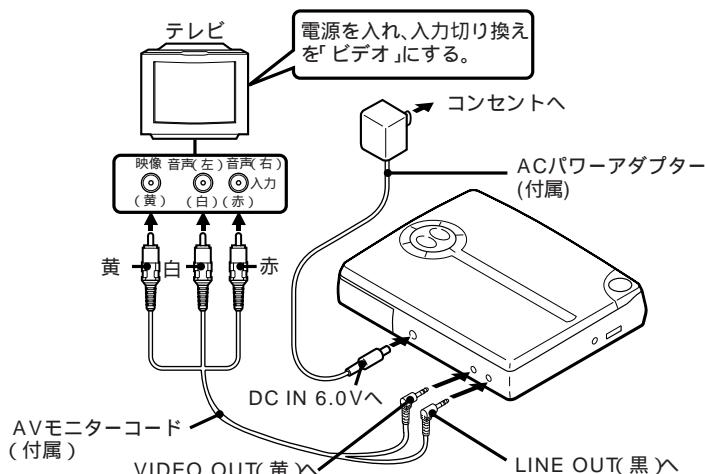
ビデオCDを再生する	4
音楽CDを聞く	6
PBC機能を使って楽しむ	8
PBC対応のビデオCDを再生する(PBC再生).....	8
PBCの再生例	9
シーン番号で選ぶ(シーン再生).....	10
場面や曲の探しかた	11
動作状態をテレビ画面に表示する	11
再生したい場面や曲を探す(AMS / ダイレクト選択).....	12
再生したい部分を探す(サーチ).....	12
ビデオインデックスを使って探す(ビデオインデックス再生).....	13
いろいろな再生のしかた	14
繰り返し再生する(リピート再生).....	14
好きなトラックだけを再生する(イントロプログラム再生).....	14
順不同に再生する(シャッフル再生).....	15
好きな順に再生する(RMS - プログラム再生).....	16
音声を切り換える	17
いろいろな機能を使う	18
誤操作を防ぐには(ホールド機能).....	18
止めたところから再生するには(リジューム機能).....	18
リモコンで操作する	19
ステレオ機器につなぐ	20
電源について	20
充電式リチウムイオン電池で使う	20
その他	22
使用上のご注意	22
故障かな?と思ったら	23
主な仕様	24
お手入れ	25
保証書とアフターサービス	25
各部のなまえ	26
用語解説	26
裏表紙	3

ビデオCDを再生する

付属のACパワーアダプターを使ってビデオCDを再生してみましょう。
他の電源(充電式リチウムイオン電池)での使いかたは「電源について」
(20ページ)をご覧ください。

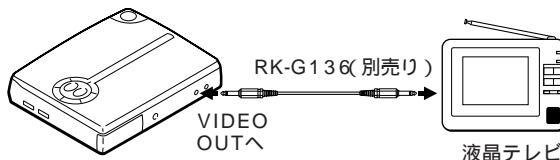
1 つなぐ

映像 / 音声入力端子のあるテレビをつなぐには
付属のAVモニターコードを使う。



液晶テレビなどをつなぐには

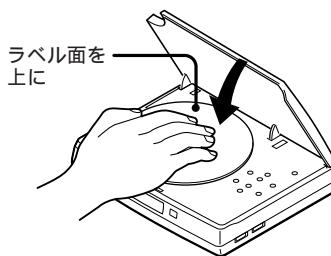
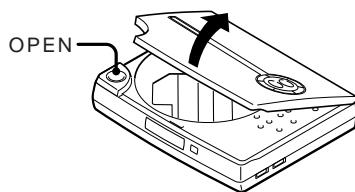
ステレオミニタイプの映像 / 音声入力端子のあるときは、別売りの接続コードRK-G136などをを使います。このときは、音声はモノラルになります。



ステレオ機器につなぐには

他のステレオ機器につないでより良い音声でビデオCDを再生するには、「ステレオ機器につなぐ」(20ページ)をご覧ください。

2 ビデオCDを入れる

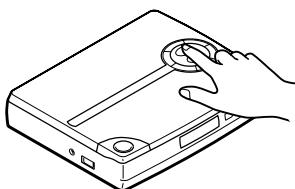


① OPENボタンを押して、ふたを開ける。

② ビデオCDをはめこむ。

3 再生する

PBC対応のディスクを再生するには、8ページをご覧ください。



① ▶ボタンを押す。
再生が始まります。

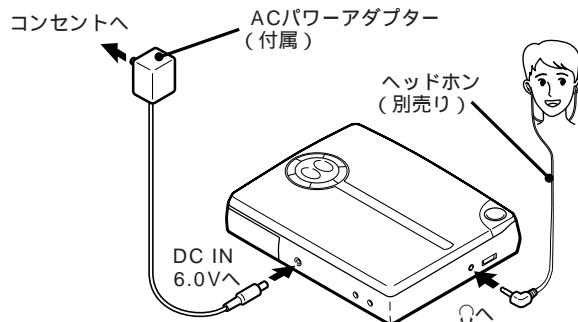
② 本機のリモコンで再生する音量を調節する。
(本体の音量調節つまみではできません。)

こんなときは	操作
一時停止する	PAUSE/II(または、リモコンのIIボタン)を押す。
一時停止を解除する	▶(または、もう一度PAUSE/II)を押す。

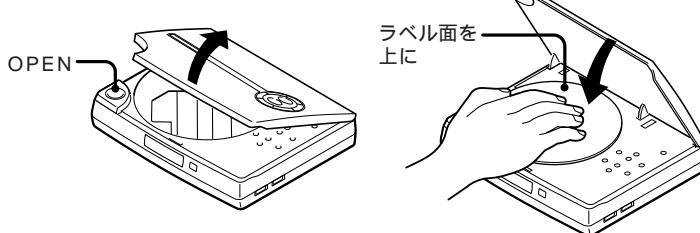
止めるには
再生中にPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押す。
電源も同時に切れます。

音楽CDを聞く

1 つなぐ



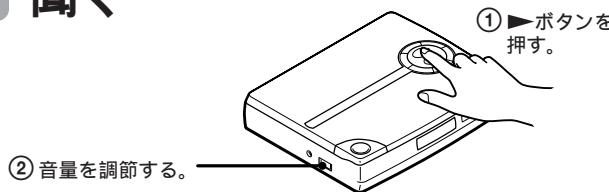
2 音楽CDを入れる



① OPENボタンを押して、ふたを開ける。

② CDをはめこむ。

3 聞く



こんなときは	操作
一時停止する	PAUSE■ボタン(または、リモコンの■ボタン)を押す。
一時停止を解除する	▶ボタン(または、もう一度PAUSE■ボタン)を押す。

表示窓について

- ▶ボタンを押すと、RESUMEスイッチがOFFのときは、総トラック数と総再生時間が約2秒間出ます。
- 再生中は、再生中のトラック番号とその経過時間が表示されます。
- 一時停止中は、再生時間が点滅します。
- トラックとトラックの間には、次のトラックが始まるまでの時間が表示されます。

ディスクの取り扱いについて

- 表面に手を触れないように持ってください。
- 紙やテープを表面に貼らないでください。
- 直射日光があたるところなど高温の場所や、直射日光下で窓を閉めきった車の中に放置しないでください。



止めるには
再生中にPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押す。
電源も同時に切れます。

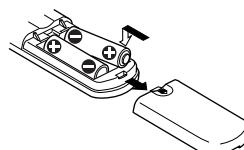
ディスクを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端のほうからつまみあげます。



リモコンの電池の入れかた

+と-の向きを正しく入れます。

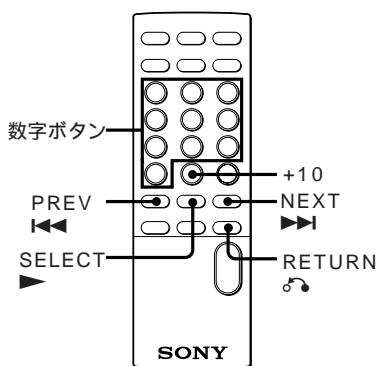


►PBC機能を使って楽しむ

PBC対応のビデオ CDを再生する (PBC再生)

本機では、PBC(プレイバックコントロール)機能を使ってPBC対応のビデオCD(バージョン2.0(対話型のソフトや検索機能のあるソフト))を再生できます。

ディスクによって再生の手順が異なることがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。



- 1 PBC対応のビデオCDを入れる(5ページ)。
- 2 SELECT▶ボタンを押す。
PBC再生が始まり、テレビ画面にPBC機能のメニュー画面(選択画面)が表示されます。本機の表示窓には「SELECT」が点滅します。



- 3 数字ボタンを押してメニュー画面から再生したい項目を選択。

項目の3を選ぶときは、数字ボタンの3を押します。

11以降の項目を選ぶときは、+10ボタンを押してから、1の位の数を押します。

<例>

12番: +10と2

24番: +10と+10と4

30番: +10と+10と10

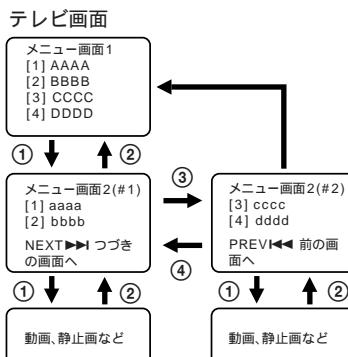
本体で操作するときは
MENU+またはMENU-ボタンを押して、項目の番号に合わせ、▶ボタンを押します。

- 4 テレビ画面に表示される画面に従って、対話形式で再生を進める。
PBC再生中は、次の操作を繰り返して再生を進めていきます。
次のページに続く→

こんなときは	操作のしかた
項目の番号を選ぶ	リモコンの数字ボタンで項目の番号を押す。
	本体のMENU + / - ボタンを押して、項目の番号に合わせ、 ▶ボタンを押す。
動画再生時、テレビの画面に「SELECT」が点滅中に項目を選ぶ	数字ボタン、または MENU + / - ボタンと▶ボタンを押すと、動画再生中でも他の場面を選ぶことができます。
メニュー画面(選択画面)に戻る	一般的なPBC対応のビデオCDでは、RETURN♪ボタンを押す。 (操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスクに付属の説明書をご覧ください。)

PBC再生の例

一般的なPBC再生の例です。操作の方法はディスクによっても異なることがありますので、ディスクの説明書もご覧ください。

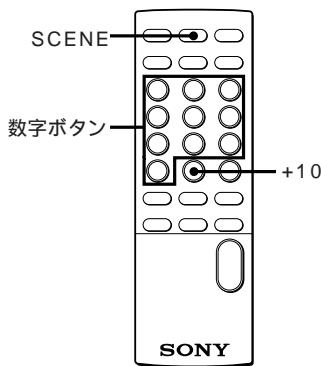


- ① 項目の番号を選ぶ:
リモコンの数字ボタンで項目の番号を押すか、MENU + または MENU - ボタンを押して項目の番号に合わせてから▶ボタンを押す。
 - ② 一つ前のメニュー画面(選択画面)に戻る:
RETURN▶ボタンを押す。
 - ③ メニュー画面(選択画面)のつづきを見る:
NEXT▶▶ボタンを押す。
 - ④ メニュー画面(選択画面)のつづきを見たあと、元のメニュー画面(選択画面)に戻る:
PREV◀◀ボタンを押す。

シーン番号で選ぶ (シーン再生)

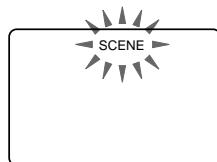
PBC対応のビデオCDには、「シーン」というメニュー画面や動画、静止画の区切りがあり、シーンごとに番号が付いています。このシーン番号を使って、希望のシーンから再生できます。

シーン番号は、再生中にテレビ画面に表示させて確認します(11ページ)。再生中に、次に再生したいシーン番号を覚えておいてください。



1 再生中にSCENEボタンを押す。

テレビ画面に「SCENE」と表示されます。



2 数字ボタンや+10ボタンを押して希望のシーン番号を選ぶ。テレビ画面に選んだシーン番号が表示されます。



シーン番号の11以降を選ぶときは

+10ボタンを押してから、1の位の数の数字ボタンを押して選びます。

<例>

12番: +10と2

24番: +10と+10と4

30番: +10と+10と10

間違えたときは

手順1からやり直します。

ご注意

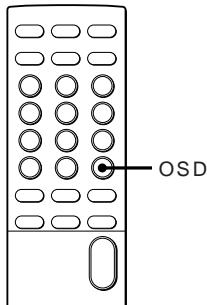
- 特定のシーンからの再生を禁止しているディスクでは、シーン再生はできません。そのときは、シーン番号の表示が消え、そのまま再生を続けます。

- ディスクによっては、選んだシーンの映像が出ないことがあります。

▶場面や曲の探し方

動作状態をテレビ 画面に表示する

現在の動作状態やディスクの情報を確認できます。



OSDボタンを押す。

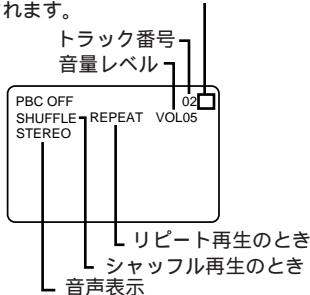
押すたびに、「OSD 1」表示(画面表示モード)が切り換わります。

→ OSD 1 → OSD 2 → OSD OFF

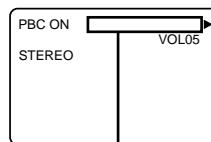
「OSD 1」のときは、各ボタンを操作したときだけ動作状態が数秒間表示されます。「OSD 2」のときは、次の内容が常に表示されます。

PBC対応でないビデオCD / PBC OFFでの再生時

再生状態(再生中▶、一時停止中■、早送り中▶▶、早戻し中◀◀)が表示されます。



PBC対応のビデオCD再生時



シーン番号やビデオインデックス番号などが表示されます。

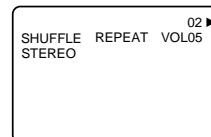
再生中の場面のシーン番号を確認するには

OSDボタンを押して画面表示モードを「OSD 2」にしてから、SCENEボタンを押す。

再生中の場面のビデオインデックス番号を確認するには

OSDボタンを押して画面表示モードを「OSD 2」にしてから、V-INDEXボタンを押す。

音楽CD再生時



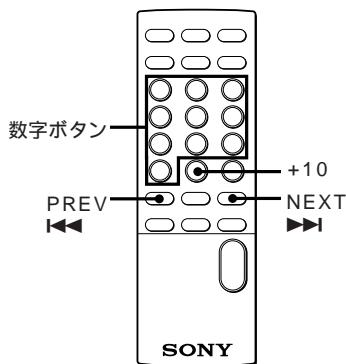
ご注意

- 本機で再生する内容を他機で録画するときは、必ず画面表示モードを「OSD OFF」にしてください。「OSD 1」または「OSD 2」になっていると、画面表示も録画されてしまいます。

- 音楽CDの再生中に画面表示を見たいときは、必ず電源を入れる前にAVモニターコードをつないでおいてください。

- 画面表示モードはPOWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して電源を切っても記憶されていますが、ACパワーアダプターや充電式リチウムイオン電池からの電源供給が途絶えると、画面表示モードは「OSD OFF」になります。

再生したい場面や曲を探す(AMS*/ダイレクト選択)



こんなときは	操作のしかた
次の場面や曲を頭出しする(AMS)	再生中、NEXT▶▶ボタンを押す。
再生中の場面や曲、または前の場面や曲を頭出しそうする(AMS)	再生中、PREV◀◀ボタンを押す。
トラック番号で直接選ぶ(ダイレクト選択)	再生したいトラック番号の数字ボタンを押す。

ダイレクト選択で、トラック番号の11以降を選ぶときは+10ボタンを押してから、1の位の数の数字ボタンを押して選びます。

<例>

12番: +10と2

24番: +10と+10と4

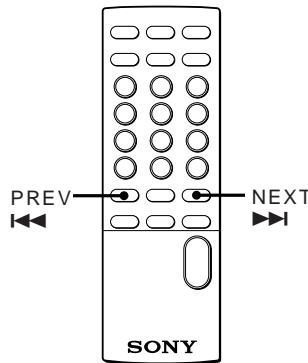
30番: +10と+10と10

ご注意

PBC対応のビデオCDを再生中は、これらのボタンはPBC機能操作ボタン(8~9ページ)として働きます。

* AMSとはAutomatic Music Sensorの略です。

再生したい部分を探す(サーチ)



次のページに続く→

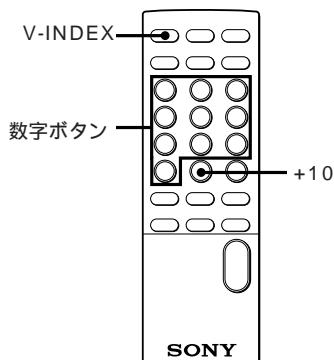
探しめた	操作のしかた
画面を見ながら または音を聞き ながら探す	再生中、PREVIOUS◀またはNEXT▶ボタン を押したままにする。 (ビデオCDのときは、 きちんと再生されません。)

ご注意

- PBC対応のビデオCDでは動画の再生中の時だけできます。
- ビデオCDの再生中、サーチを行うと、映像が乱れることがあります。

ビデオインデックスを使って探す(ビデオインデックス再生)

ビデオインデックス番号が記録されているディスクでは、1つのトラック内で見たい場面を選んで再生できます。



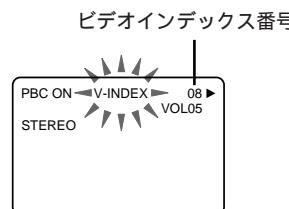
探しめた	操作のしかた
再生中、ビデオインデックス番号 を直接選ぶ (ダイレクト選 択)	1 V-INDEXボタンを 押す。 2 数字ボタンを押して ビデオインデックス 番号を選ぶ。

表示窓



ビデオインデックス番号

テレビ画面
(画面表示モードが「OSD 2」のとき)



ビデオインデックス番号

ダイレクト選択で、ビデオインデックス番号の11以降を選ぶときは
+10ボタンを押してから、1の位の数の数字ボタンを押します。

<例>

12番: +10と2

24番: +10と+10と4

30番: +10と+10と10

ビデオインデックス再生をやめるには
V-INDEXボタンをもう一度押す。

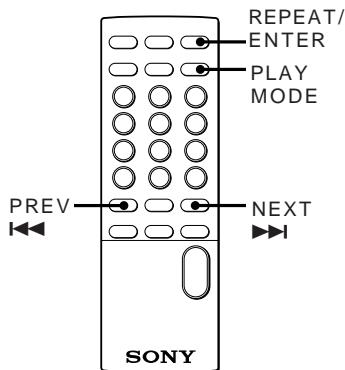
ご注意

- ビデオインデックスが記録されていないディスクやトラックでは、ビデオインデックス再生はできません。
- 2つ以上のトラックにまたがっては探しません。

▶いろいろな再生のしかた

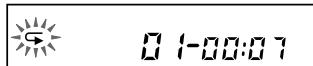
繰り返し再生する (リピート再生)

ディスク全体、または1つのトラックだけを何回も繰り返して再生できます。



ディスク全体(全トラック)を繰り返すには

再生中にREPEAT/ENTERボタンを押します。
⇨が出ます。



- ・ イントロプログラム再生、シャッフル再生やプログラム再生(RMS*)のときもREPEAT/ENTERボタンを押すと、リピート再生が楽しめます。
- ・ リピート再生をやめるには、もう一度REPEAT/ENTERボタンを押します。

ランダム ミュージック センサー
* RMSはRandom Music Sensorの略です。

1トラックだけを繰り返すには

- 1 繰り返したいトラックの再生中に、REPEAT/ENTERボタンを押す。
⇨が出ます。



- 2 「1」が出るまでPLAY MODEボタンを繰り返し押す。



リピート再生をやめるには、もう一度REPEAT/ENTERボタンを押します。

他のトラックを繰り返すには、PREV◀◀またはNEXT▶▶を押しします。

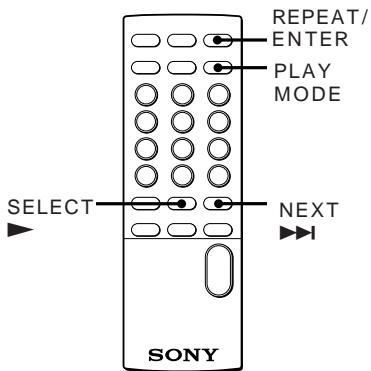
ご注意

PBC再生中はこの操作はできません。
PBC機能をOFFに切り換えて(9ページ)操作してください。

好きなトラックだけを再生する (イントロプログラム再生)

トラックの最初の15秒をひと通り再生しながらトラックを選び、選んだトラックだけを再生します。

次のページに続く→



- 1 再生中に「INTRO PGM」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



ゆっくり点滅

- 2 SELECT▶ボタンを押す。
各トラックの最初の15秒を次々に再生します。「INTRO PGM」は速く点滅します。

- 3 再生したいトラックになったら、REPEAT/ENTERボタンを押す。
そのトラックが登録されます。再生たくないときは、次のトラックに移るまで待つか、NEXT▶▶ボタンを押します。

最後のトラックの再生が終わると、「INTRO PGM」の点滅が止まり、登録したトラックだけが自動的に再生されます。

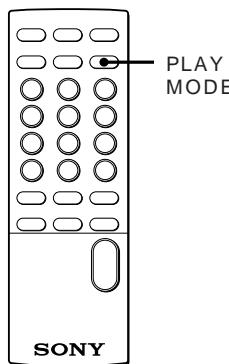
イントロプログラム再生をやめるには、「INTRO PGM」が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

ご注意

- ・ダイレクト選択(12ページ)をすると、イントロプログラム再生は解除されます。
- ・PBC再生中はこの操作はできません。
PBC機能をOFFに切り換えて(9ページ)操作してください。

順不同に再生する (シャッフル再生)

全トラックを順不同に再生します。



再生中に「SHUFFLE」が出るまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。

次のトラックから順不同で全トラックを1回再生します。



シャッフル再生をやめるには、「SHUFFLE」が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

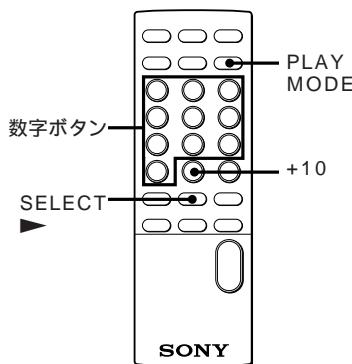
次のページに続く→

ご注意

- ・シャッフル再生中はPREV◀◀ボタンを押しても前の曲に戻りません。
- ・ダイレクト選択12ページをすると、シャッフル再生は解除されます。
- ・PBC再生中はこの操作はできません。PBC機能をOFFに切り換えて(9ページ)操作してください。

好きな順に再生する(RMS - プログラム再生)

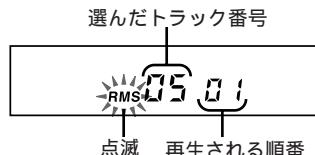
再生したい順に最大22トラックまで、プログラムして再生できます。



- 1 再生中に「RMS」が点滅するまで、PLAY MODEボタンを繰り返し押す。



- 2 数字ボタンや+10ボタンを押して、トラックを選ぶ。トラック番号と再生される順番が出ます。



トラック番号の11以降を選ぶときは

+10ボタンを押してから、1の位の数の数字ボタンを押して選びます。

<例>

12番: +10と2

24番: +10と+10と4

30番: +10と+10と10

- 3 手順2を繰り返して、希望のトラックを登録する。

- 4 SELECT▶ボタンを押す。「RMS」の点滅が止まり、選んだ順に再生が始めります。

プログラム再生をやめるには、「RMS」が消えるまでPLAY MODEボタンを繰り返し押します。

再生順を確認するには

手順4の前に、REPEAT/ENTERボタンを押します。ボタンを押すたびに、トラック番号が再生される順番に出ます。最後のトラックまで表示し終わると、最初のトラック番号に戻ります。

曲トラック数と合計時間を確認するには

手順4の前に、REPEAT/ENTERボタンを1秒以上押します。押している間、トラック数と合計時間が表示されます。

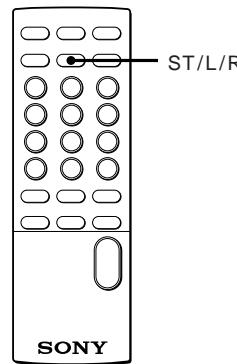


ご注意

- 22トラックを登録した後で次のトラックをプログラムすると、登録されている最初のトラックがそのトラックに置き換わります。
- 合計時間は、次のとき「- - -」と出ます。
 - ディスクの32トラック目以降を登録したとき
 - 合計時間が100分以上のとき
- ダイレクト選択 12ページ迄すると、プログラム再生は解除されます。
- PBC再生中はこの操作はできません。PBC機能をOFFに切り換えて(9ページ)操作してください。
- ビデオインデックス番号を登録してプログラムを作ることはできません。

音声を切り換える

音声多重ディスクでは、左右のチャンネルに別々の音が録音されています。このようなディスクでは、左右どちらか片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます。このときの音声はモノラルです。



再生中、ST/L/Rボタンを押す。
押すたびに、テレビ画面の表示とスピーカーから聞こえる音声が切り換わります。

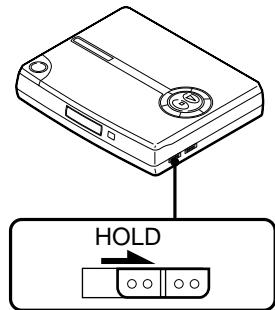
押す回数	表示*	聞こえる音声
1回	L	左チャンネルの音
2回	R	右チャンネルの音
3回	STEREO	ステレオ再生

* 画面表示モードが「OSD 1」または「OSD 2」とき

いろいろな機能を使う

誤操作を防ぐには(ホールド機能)

ビデオCDプレーヤーをカバンに入れているときなど、誤って本体のボタンが押されるのを防げます。リモコンのボタンは、このスイッチの位置に関わりなく働きます。

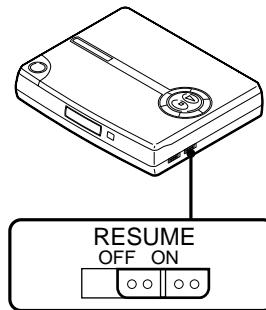


HOLDスイッチを矢印の方向へスライドします。

ホールド機能を解除するには、
HOLDスイッチを矢印の反対方向
(左)へ戻します。

止めたところから再生するには(リピューム機能)

通常はディスクの再生を止めると、次は1曲目から再生されますが、リピューム機能を使うと、最後に止めたところから再生されます。



RESUMEスイッチをONに合わせます。

リピューム機能を解除するには、
RESUMEスイッチをOFFに合わせます。

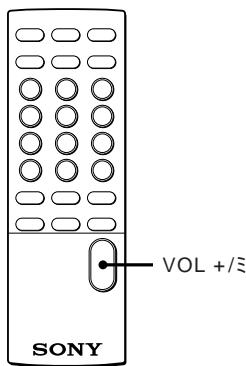
ご注意

- リピューム機能をONにしていても、ふたを開けると最後に止めたところの記憶が消え、次に再生するときはディスクの1トラック目から再生が始まります。
- リピューム機能は、±約30秒の誤差が出ることがあります。
- PBC再生中はこの操作はできません。
PBC機能をOFFに切り換えて(9ページ)操作してください。

リモコンで操作する

音量を調節するには

ヘッドホンの音量やLINE OUT端子につないだテレビの音量を01～10の範囲でリモコンで調節できます。



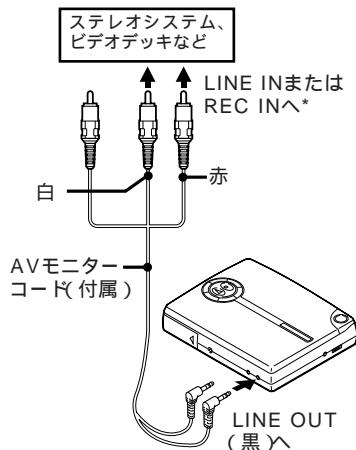
VOL +/−ボタンを押します。
VOL +ボタンを押すと、音量が大きくなります。
VOL −ボタンを押すと、音量が小さくなります。

ご注意

- ・本機を充電式リチウムイオン電池で使用しているときに、POWER OFF■ボタン（またはリモコンの■ボタン）を押して電源を切った後は、約10分間だけリモコンのSELECT▶ボタンで電源を入れることができます。それ以降は本体の▶ボタンを押して電源を入れてください。
- ・本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- ・リモコン受光部との間に障害物がないようにしてください。

ステレオ機器につなぐ

他のステレオ機器で音を再生したり、ミニディスクやビデオテープに録音・録画できます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。接続する機器の電源は必ず切つてから接続してください。



* LINE INまたはREC IN端子のない機器につなぐときは、別売りの接続コード RK-G134でMIC端子につなぎます。

ご注意

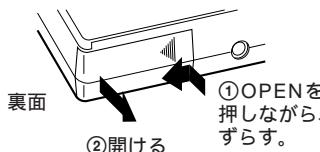
- ・ビデオCDを再生するときは、VIDEO OUT端子に映像コードをつなぎます。
- ・再生を始める前に、つないだ機器の音量を下げておいてください。思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

▶電源について

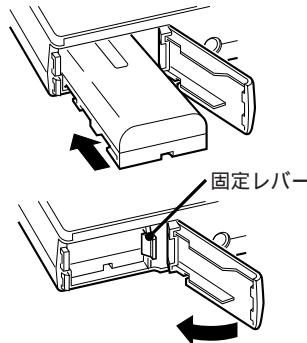
充電式リチウムイオン電池を使う

初めてお使いになるときは充電式リチウムイオン電池を充電してください。

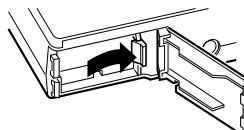
1 電池入れのふたを開ける。



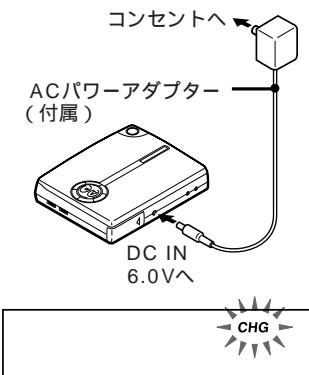
2 充電式リチウムイオン電池を図の様に固定レバーにしっかりと固定されるまで差し込み、ふたを閉める。



取り出すときは
ふたを開け、固定レバーを矢印の
方向へ押します。



- 3** 付属のACパワーアダプターをつなぐ。
充電が始まり、「CHG」が出ます。
充電は、最大で約8時間かかります。充電し終わると、「CHG」が消えます。



- 5** 充電し終わったら、ACパワーアダプターをはずす。

充電の目安

充電式リチウムイオン電池が消耗してくると、が点滅し、再生は自動的に停止します。

は点灯に変わります。充電式リチウムイオン電池を充電してください。



充電式リチウムイオン電池の持続時間

水平に置き、振動のない状態で再生したときの時間です。

(時間)		
ディスクの種類	CD	ビデオCD
持続時間	約12.0	約4.0

ご注意

- ・音楽CD再生時にVIDEO OUT端子にプラグを差したままでいると電池寿命が短くなります。映像を再生しないときは、電源を入れる前にVIDEO OUT端子からプラグを抜いてください。
- ・充電時間は充電式リチウムイオン電池の使用状態によって異なります。
- ・初めて充電するときや長時間使用しなかった後では、充電しても使用時間が短くなることがあります。何回か充放電をすると通常の状態に戻ります。

▶その他

使用上のご注意

安全のために

- ・本機に使われているレーザー光が目にあたると危険です。絶対にプロジェクターを分解したりしないでください。

電源について

本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

ACパワーアダプターについて

- ・付属のACパワーアダプターをご使用ください。これ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

- ・電源コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

本機の取り扱いについて

- ・ディスクテープルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- ・落としたり、重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えると、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。

- ・次のような場所に置かないでください。

- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
- ダッシュボードや直射日光下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
- 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
- ホコリの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 風呂場など、湿気の多いところ。
- ・ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、ラジオやテレビから離してください。

ヘッドホンで聞くときのご注意

- ・まわりの人のことを考えて付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多い所では、音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

故障かな? と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときはお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

再生が始まらない、または、ディスクを入れても「no dISC」が出る。

- ➡ ディスクが汚れている、または大きな傷がある。大きな傷がある場合は、ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクのラベル面を上にして入れる。
- ➡ 結露している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く。
- ➡ レンズが汚れている。
- ➡ 充電池入れのふたをしっかり閉める。
- ➡ 充電式電池を正しく入れる。
- ➡ ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む。

音が出ない、または雑音が聞こえる。

- ➡ プラグをしっかり差し込む。
- ➡ プラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布でクリーニングする。

音に奥行きがなく、モノラルのように聞こえる。

- ➡ リモコンのST/L/Rボタンを押して、「STEREO」を選ぶ。

本体のボタンを押すと、表示窓に「Hold」が出る。

- ➡ 本体のHOLD機能が働いている。HOLDスイッチを左方向に戻して、HOLD機能を解除する。

映像が出ない。

- ➡ テレビの電源が入っているか確かめる。
- ➡ テレビの入力切り換えがビデオCDプレーヤーの映像が映るようになっているか確かめる。

- ➡ 映像用接続コードが正しく接続されているか確かめる。
- ➡ 音楽CDの再生中にAVモニターコードを接続しても映像は出ません。電源を入れる前にAVモニターコードを接続してください。
- ➡ 次のマークの付いたディスクを使っているかどうか確かめる。



- ➡ 上のマークが付いたディスクでも不法にコピーされたディスクなどでは再生できないことがあります。ディスクの販売店などにご相談ください。

映像が乱れる。

- ➡ PREV◀◀ / NEXT▶▶ボタンを押したり、PAUSE■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して一時停止にしたときにこのような現象が起こることがありますが、故障ではありません。
- ➡ ディスクに大きな傷がある。ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクの汚れがひどい。クリーニングする。

映像がゆがんで再生される。

- ➡ PAL方式のディスクを再生したときは、映像が横にゆがんで見えることがあります。

リモコンで操作できない。

- ➡ 本機を充電式リチウムイオン電池で使用しているときに、POWER OFF■ボタン(またはリモコンの■ボタン)を押して電源を切った後は、約10分間だけリモコンのSELECT▶ボタンで電源を入れることができる。それ以降は本体の▶ボタンを押して電源を入れる。
- ➡ ディスクに大きな傷がある。ディスクを取り換える。
- ➡ ディスクの汚れがひどい。クリーニングする。

主な仕様

型式

コンパクトディスクデジタル
オーディオ / ビデオCD再生
システム

取り込み方式

非接触光学式読み取り(半導体
レーザー使用)

レーザー

GaAlAs ダブルヘテロダイオード
波長 = 780 nm

回転数

約200 rpm ~ 500 rpm

エラー訂正方式

ソニースーパーストラテジー
(クロスインターリーブリードソロ
モンコード)

チャンネル数

2チャンネル

復号化(D/A)

1 bit

周波数特性

20Hz ~ 20,000Hz $^{+1}_{-3}$ dB*

ワウ・フランジャー

測定限界以下

出力端子(電源電圧6.0V時)

- LINE OUT端子(ステレオミニジャック)1個
最大出力レベル 0.7V
(47k)
推奨負荷インピーダンス 10k
以上
- VIDEO OUT端子(ミニジャック)
1個
映像出力 最大出力レベル
1Vp-p(75)
推奨負荷インピーダンス 75
以上

- ヘッドホン端子(ステレオミニジャック)1個
最大出力レベル 7mW + 7mW
(EIAJ/16)
推奨負荷インピーダンス 16

*日本電子機械工業会(EIAJ)規格による
測定値です。

電源・その他

本体電源

- 充電式リチウムイオン電池NP-F530(別売り) DC 7.2V、
1350mAh
- 外部電源端子 定格DC 6.0V
ACパワーアダプター(付属)を接続
してAC 100V電源から使用可能

リモコン電源

単3電池 2個

本体寸法

約 77.0 x 34.8 x 145.0 mm
(幅 / 高さ / 奥行き)

質量

本体 約400g
ご使用時 約510g(充電式リチウムイオン電池とディスクを含む)

動作温度

5 ~ 35

付属品

- ACパワーアダプター(1)
- AVモニターコード(1)
- リモコン(1)
- リモコン用電池(2)
- 取扱説明書(1)
- サービス窓口・ご相談窓口のご案内
(1)
- 保証書(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

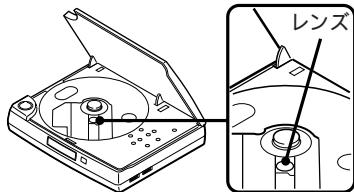
別売りアクセサリー

充電式リチウムイオン電池NP-F530

お手入れ

レンズの汚れは

レンズクリーニングキットKK-DM1
(別売り)を使ってクリーニングして
ください。



キャビネットの汚れは

柔らかい布で乾ぶきします。汚れがひ
どいときは、うすい中性洗剤溶液でし
めらせた布でふいてください。シン
ナー、ベンジン、アルコールなどは表
面の仕上げをいためますので使わな
いでください。

保証書と アフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されています
ので、お買い上げの際お受け取りくださ
い。
- 所定事項の記入および記載内容をお確か
めのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間で
す。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調
べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓
口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くの
ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させて
いただきます。詳しくは保証書をご覧くだ
さい。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご
要望により有料修理させていただきます。

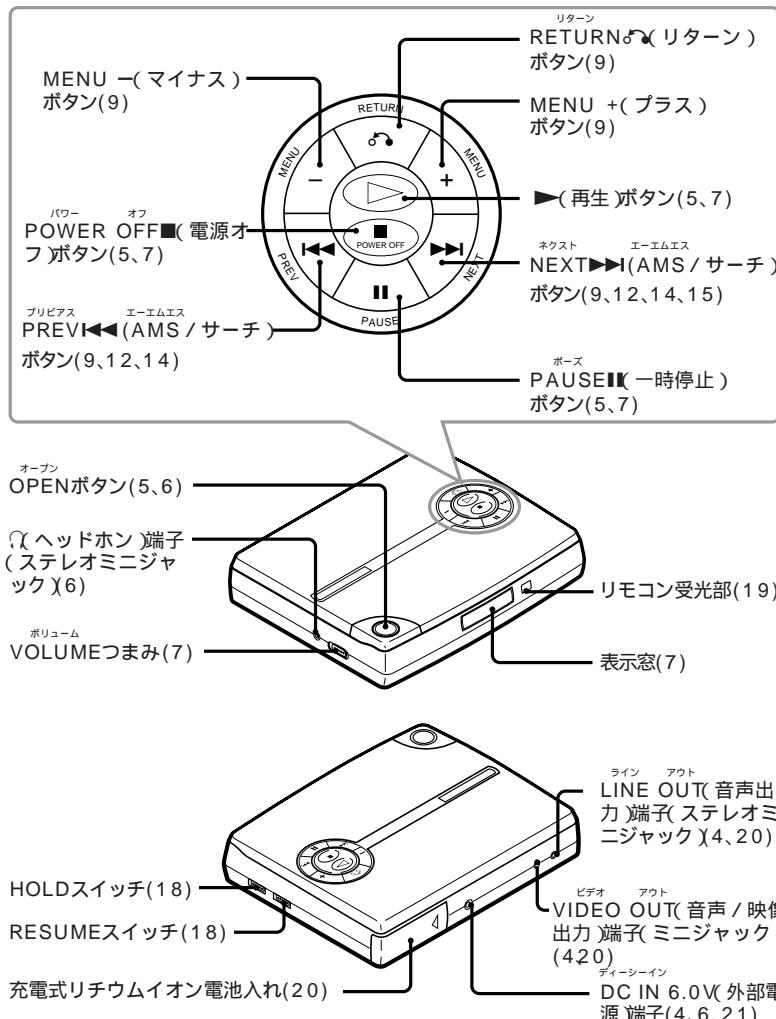
部品の保有期間について

当社では、ビデオCDプレーヤーの補修用
性能部品(製品の機能を維持するために必
要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間
保有しています。この部品保有期間を修理
可能な期間とさせていただきます。保有期
間が経過した後も、故障箇所によっては修
理可能の場合がありますので、お買い上げ
店かサービス窓口にご相談ください。

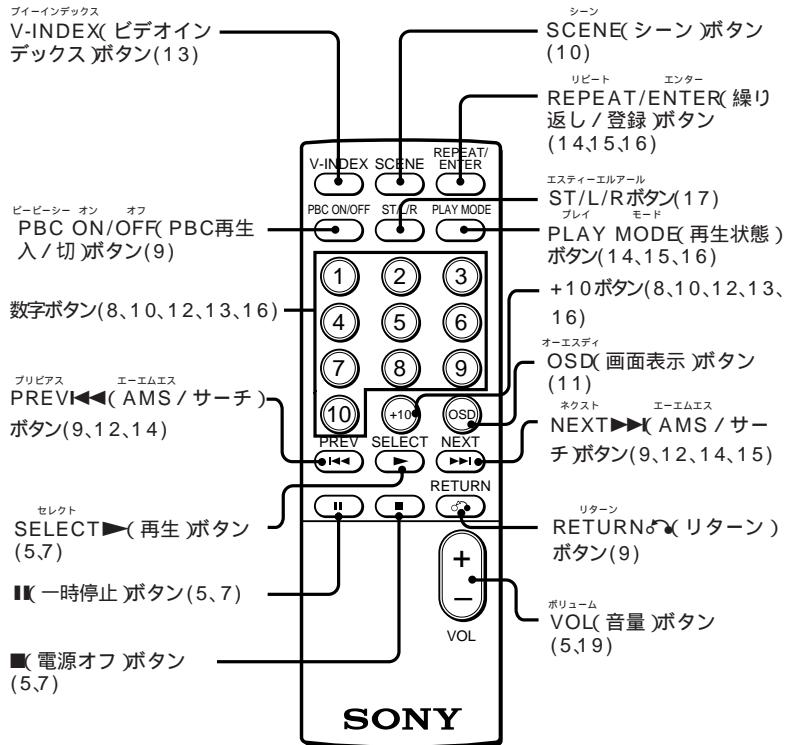
各部のなまえ

()内のページに詳しい説明があります。

本体



リモコン



用語解説

インデックス

再生したい部分を見つけやすいように、1つのトラックまたはディスク全体をいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスには音楽CDに使われているインデックスと、ビデオCDに使われているビデオインデックスの2種類があります。本機はビデオインデックスにだけ対応しています。

シーン

PBC対応のビデオCDに記録されているメニュー画面、動画や静止画の区切り。それぞれに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

トラック

ディスクに記録されている、映像または曲の区切りのこと。それぞれに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

ビデオCD

動画の記録されているCD。ビデオCDでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG1」(エムペグ1)を使うことにより、12cmのディスクに最大74分までの動画を記録できます。

また、音声情報についても、従来の音楽CDと比較すると約6分の1に圧縮しています。

ビデオCDには、動画や音声の再生だけが可能なバージョン1.1と、高精細の静止画の再生やPBC(プレイバックコントロール)機能を持ったバージョン2.0があります。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号。

PBC対応のビデオCDに記録されているメニュー画面(選択画面)を使って、簡単な対話型のソフトや、検索機能を持ったソフトなどを楽しめます。

PBC再生

PBC対応のビデオCD(バージョン2.0)のメニュー画面(選択画面)を使って、対話形式で再生すること。メニュー画面(選択画面)を使って簡単な対話型のソフトが楽しめます。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony Corporation Printed in Japan